

# 環境経営レポート



# R.E.HAYASHI

株式会社アール・イー・ハヤシ

対象期間：2024 年 09 月～2025 年 08 月(2024 年度)

対象範囲：全組織・全活動

発行日　：2025 年 11 月 17 日(月)

目次	
ご挨拶	-03
環境経営理念	-03
環境経営方針	-04
1.組織の概要	-05
事業者名及び代表者名	
所在地	
環境管理責任者氏名及び担当者連絡先	
事業所の規模	
組織の体制の役割・責任・権限	-06
許可・登録の内容	-07
産業廃棄物処分業許可取得状況	
産業廃棄物収集運搬業取得状況	
特別管理産業廃棄物収集運搬業許可取得状況	
一般廃棄物収集運搬許可取得状況	-08
施設等の状況	-08
収集運搬業	
運搬車両の種類と台数(収集運搬業許可 登録車輛)	
積替え保管施設の面積・保管上限	-09
中間処理業	-10
中間処理施設の種類	
処理する廃棄物の種類	
処理能力(規模)	
処理方法	
処理工程図	-11
受託した産業廃棄物の処理量	
2.環境経営目標と実績および取組結果の評価	-12
実績および運用に対する目標	
環境経営計画及び取組表	
環境経営計画・取組結果と評価	-13
運用評価	-15
3. 環境関連法規等の遵守状況の評価結果の確認及び	-17
評価の結果並びに違反、起訴等の有無	-17
4. 代表者による全体評価と見直し	-18

ご挨拶

当社アール・イー・ハヤシは、循環型社会形成に向けた[5R]活動を行うにあたって、環境保全活動に取り組んで参ります。その行動方針としてこの環境経営方針を定め、環境に対して著しい影響を与えないよう環境保全の推進及び継続的改善と共に、お客様満足の一層の追及を推進し実行致します。また、苦情・相談等の各種お問い合わせに誠意を持って対応します。

「環境経営理念」

《限りある資源を大切に》これが私たちの理念です。アール・イー・ハヤシは、地域・社会の発展、環境の保全に貢献し、廃棄物の再資源化に努め、資源循環型社会の実現に向けて貢献します。常に自然環境への配慮、自然社会の一員としてCO2削減に努めます。

- 1.環境関連法規等を遵守し、環境保全活動に積極的に取り組みます。
- 2.温暖化防止の為に、節電を励行しエコドライブやその他によるCO2削減に努めます。
- 3.節水に取り組みます。
- 4.選別強化により、廃棄物量を削減及びリサイクル率の向上に努めます。
- 5.環境に配慮した物品の購入を推進します。
- 6.環境教育及び訓練の実施を行うことで、全員に環境方針を周知し意識の向上を図ります。

制定日：2022/09/01

株式会社アール・イー・ハヤシ

代表取締役 安田 真之



# 環境経営方針

## 〔 企業理念 〕

株式会社アール・イー・ハヤシは、地球環境の問題が人類共通の重要な課題であることを認識し、リサイクルを企業の原点としていることから、環境と調和した豊かな環境型社会づくりに貢献する企業活動を行ってまいります。

## 〔 環境経営の指針 〕

当社アール・イー・ハヤシは、循環型社会形成に向けた〔5R〕活動を行うにあたって、環境保全活動に取り組んで参ります。その行動方針としてこの環境経営方針を定め、環境に対して著しい影響を与えないよう環境保全の推進及び継続的改善と共に、お客様満足の一層の追及を推進し実行致します。また、苦情・相談等の各種お問い合わせに誠意を持って対応します。

## 〔 環境経営への取組の基本的方向 〕

### 1. 二酸化炭素排出量の削減

- ① 生産設備及び照明設備の省エネ化により電気使用量の削減に努めます。
- ② エコドライブの徹底により車輛等の燃料使用量削減に努めます。
- ③ その他化石燃料使用量削減に努めます。

### 2. 廃棄物排出量の削減

- ① 事業所から発生する一般廃棄物の削減に努めます。
- ② 選別強化により廃産業廃棄物の発生を抑制すると共に適正処理を行います。
- ③ 資源の有効利用とリサイクルを推進します。

### 3. 水使用量の削減

- ① 事業所内の水使用量の削減に努めます。

### 4. 条約・法令の遵守

- ① 環境関連法規等を遵守し、環境保全活動に積極的に取り組みます。

### 5. 自らが提供するサービスの改善

- ①環境教育を行うことで、全員に環境方針を周知し意識の向上を図ります。

この環境経営方針は、全従業員に周知すると共に、一般にも公開します。

制定:2022 年 9 月 1 日

株式会社アール・イー・ハヤシ  
代表取締役 安田 真之

## 1.組織の概要

1-1.事業者名及び代表者名

株式会社アール・イー・ハヤシ

代表取締役 安田 真之

1-2.所在地

本社 : 東京都品川区東品川 1-14-5

リサイクルセンター：東京都大田区東糀谷 1-7-1

法人設立　：昭和 61 年 12 月 1 日

資本金 : 3,000 万円

売上高 : 62,543 万円(2024 年 9 月～2025 年 8 月)

従業員数 : 36 人(2025 年 08 月現在)

事業内容：産業廃棄物の収集運搬業・中間処理、

一般廢棄物收集運搬業

各種古物の回収・販売業

不動産業

1-3.環境管理責任者氏名及び担当者連絡先

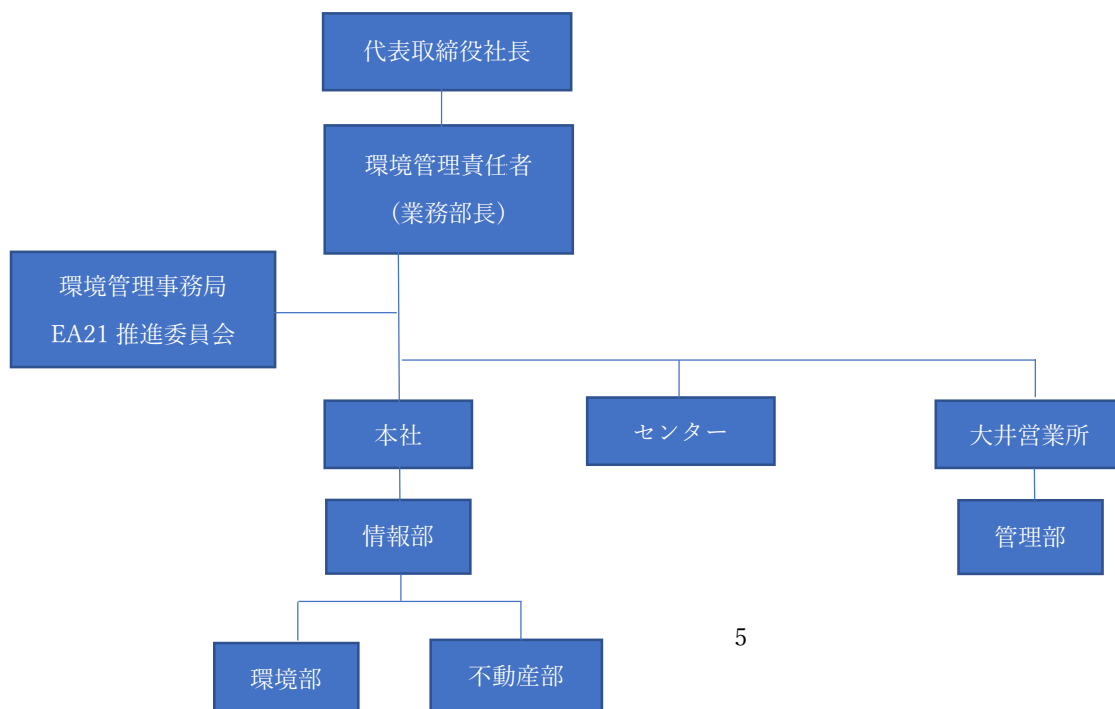
環境管理責任者：中村 直人

問い合わせ先 : 03-3472-3054

環境管理者：小柳 愛華

問い合わせ先 : 03-3472-3054

#### 1-4.事業所の規模(環境管理実施体制図)



組織の体制の役割・責任・権限

名称	役割・責任・権限
社長	<ul style="list-style-type: none"> <li>●環境経営に関する統括責任</li> <li>●環境管理責任者を任命</li> <li>●経営における課題とチャンスを確認にする。(要求事項 2)</li> <li>●環境方針を定め、誓約する。(要求事項 3)</li> <li>●環境経営を実践する為の必要十分な実施体制の構築 (要求事項 7)</li> <li>●実施体制において各自の役割、責任、権限を定め、従業員に周知する (要求事項 7)</li> <li>●実施及び管理に必要な経営資源 (人、もの、資金、情報等) を用意する (要求事項 7)</li> <li>●代表者による全体の評価と見直し実施 (要求事項 14)</li> </ul>
環境管理責任者(業務部長)	<ul style="list-style-type: none"> <li>●環境管理システムを構築、実施、管理</li> <li>●環境への負荷及び取組の自己チェックの確認、承認</li> <li>●法規制等の遵守状況をチェック</li> <li>●環境方針の案作成及び環境目標の設定</li> <li>●環境活動実施計画および実績の確認・集計・評価</li> <li>●問題点の是正、予防処置に対する指示と改善や見直しに必要な処置</li> <li>●環境活動の取組結果の代表者への報告</li> <li>●環境関連の外部コミュニケーションの窓口</li> </ul>
環境管理事務局	<ul style="list-style-type: none"> <li>●環境経営システム運営のすべての事務</li> <li>●環境への負荷及び取組の自己チェックを作成し、環境管理責任者へ報告</li> <li>●「環境関連法規等の取りまとめ及び遵守状況チェックリスト」を作成し、管理責任者へ報告</li> <li>●環境活動計画並びに運用手順書を作成し、実施達成状況を集計し、環境管理責任者へ報告</li> <li>●文書及び記録の管理保管</li> <li>●従業員に対する教育訓練の実施</li> <li>●特定された緊急事態に対する項目の手順書作成、テスト・訓練・記録</li> <li>●環境方針の理解と環境への取組の重要性を自覚</li> </ul>
(本社)情報部/ (センター)部門長/ (大井営業所)管理部	<ul style="list-style-type: none"> <li>●自部門における環境管理システムの実施</li> <li>●自部門の従業員に対する環境訓練の実施</li> <li>●自部門に関連する環境目標および環境活動計画の実施、達成状況の報告</li> <li>●自部門に必要な環境関連手順書の作成、運用管理</li> <li>●自部門に必要な緊急事態への対応のための手順書作成、テスト、訓練、記録</li> <li>●自部門の問題点の発見、是正、予防措置</li> </ul>
(本社)従業員/ (センター)部員/ (大井営業所)従業員	<ul style="list-style-type: none"> <li>●環境方針の理解と環境への取組の重要性を自覚 (要求事項 3,6)</li> <li>●決められたことを守り、自主的・積極的に環境活動へ参加</li> </ul>

1-5.許可・登録の内容

産業廃棄物処分業許可取得状況

産業廃棄物収集運搬業許可取得状況

特別管理産業廃棄物収集運搬業許可取得状況

都道府県名	許可番号	許可年月日	有効年月日
東京都(処分業)	01320016683	R05.12.18	R12.12.17
茨城県	00800016683	R07.08.17	R14.08.16
栃木県	00900016683	R07.08.01	R14.07.31
群馬県	01000016683	R7.09.29	R14.09.28
埼玉県	01101016683	R06.05.24	R13.05.08
千葉県	01200016683	R06.06.20	R13.06.19
東京都	01310016683	R05.12.18	R12.12.17
神奈川県	01402016683	R07.09.21	R14.09.28
山梨県	01900016683	R05.02.20	R12.02.19
静岡県	02201016683	R07.09.14	R14.09.13
愛知県	02300016683	R03.03.24	R08.03.14
京都府	02600016683	R02.11.16	R07.11.04
大阪府	02700016683	R03.04.11	R08.04.10
千葉県(特管)	01250016683	R06.05.14	R11.04.29
東京都(特管)	01357016683	R06.04.13	R11.04.12
神奈川県(特管)	01452016683	R06.04.16	R11.04.15

一般廃棄物収集運搬許可取得状況

市区町村	許可番号	許可年月日	有効年月日
品川区	778	R07.06.01	R09.05.31
杉並区	778	R07.06.01	R09.05.31
大田区	778	R07.06.01	R09.05.31
渋谷区	778	R07.06.01	R09.05.31
江東区	778	R07.06.01	R09.05.31

1-6.施設等の状況

1-6-1.収集運搬業

1-6-1-1.運搬車両の種類と台数

収集運搬業許可 登録車両 計 23 台(内 1 台は一廃) 2025/08 月時点

車両名	台数
・ 4 t 平ボディ	5 台
・ 4 t 平ボディ パワーゲート	4 台
・ 4 t 平ボディ クレーン	1 台
・ 2 t 平ボディ	3 台
・ 2 t 平ボディ パワーゲート	3 台
・ 4 t パッカー車 (産廃)	1 台
・ 4 t パッカー車 (一廃)	1 台
・ 4 t アームロール車	1 台
・ 中型アームロール車	1 台
・ 2 t 箱ゲート	1 台
・ バン	2 台

平成 27 年度燃費基準達成車および基準 5%及び 10%向上達成車 8 台(全体の 34%)

低騒音型建設機械 3 台(重機全体の 100%)

※今後の買換え、増車時には平成 27 年度燃費基準達成車を導入。



1-6-1-2.積替え保管施設の面積・保管上限

積替え保管施設[東京都大田区東糀谷 1-7-1](保管面積：832.85m<sup>2</sup> 最大保管高さ 1.5m)

名称	保管量	保管容器	備考
廃プラスチック・金属くず・ ガラス・コンクリート陶磁器くず	0.78m <sup>3</sup>	ドラム缶 2 個	廃蛍光灯 <sup>ア</sup> [水銀使用製品産業廃棄物に限る]
汚泥・金属くず	0.02 m <sup>3</sup>	ペール缶 1 個	廃乾電池[水銀使用製品産業廃棄物に限る]
汚泥・金属くず	0.02 m <sup>3</sup>	ペール缶 1 個	廃乾電池[水銀使用製品産業廃棄物を除く]に限る

1-6-2.中間処理業

1-6-2-1.中間処理施設の種類

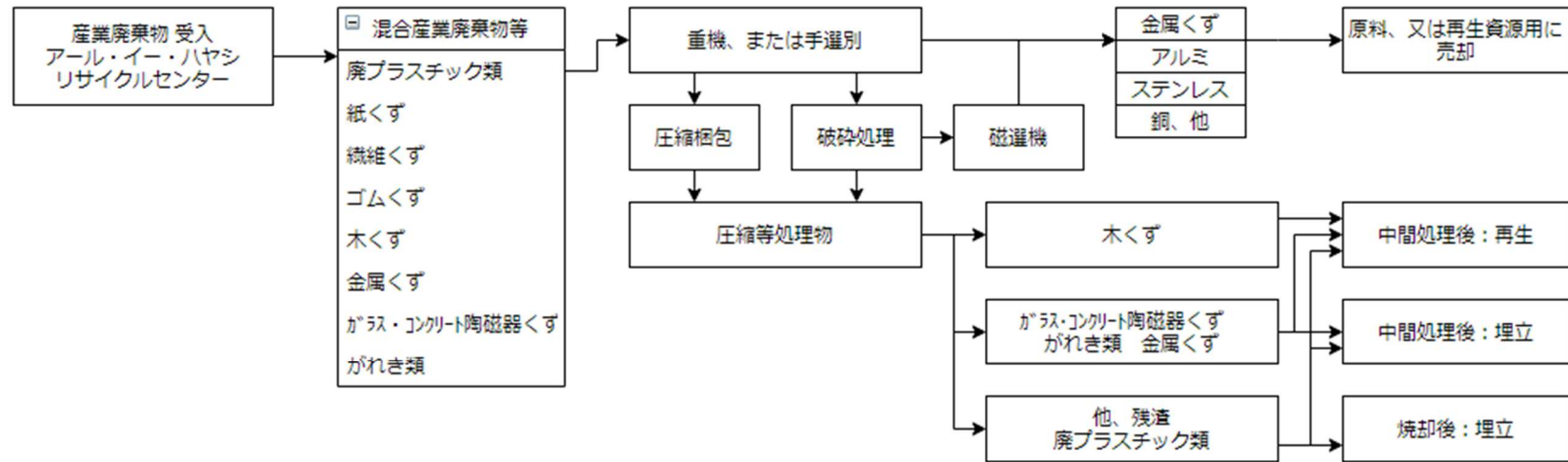
1-6-2-2.処理する廃棄物の種類

1-6-2-3.処理能力(規模)

1-6-2-4.処理方法

	産業廃棄物の 種類	単独処理能力	混合処理能力	設置年月日	処理方法	構造及び設備の概要	許可証
破 碎 施 設	廃ﾌﾟﾗｽﾁｯｸ類	4.50(t/日)	29.70(t/日)	平成 10 年 11 月 23 日	三軸スクリュ-対向式 破砕機	*粉じんの処理方法 →破砕機投入口部に散水装置 を設置し、粉じんの飛散を防 止している。  *騒音防止方法 →破砕機周りに防音シートを 設置し騒音の拡大を防止して いる。	産施 51009 号
	紙くず	12.20(t/日)					
	繊維くず						
	ゴムくず						
	木くず	30.40(t/日)					
	金属くず	33.40(t/日)					
	ｶﾞﾗｽ・ｺﾝｸﾘｰﾄ陶 磁器くず	22.70(t/日)					
	がれき類	27.30(t/日)					
圧 縮 梱 包 施 設	廃ﾌﾟﾗｽﾁｯｸ類	20.56(t/日)	—	平成 24 年 7 月 2 日	半自動圧縮梱包機	*振動防止方法 →底面にアンカーボルトで堅 固に設置する。 床面は全面ｺﾝｸﾘｰﾄ敷き。車輛 および重機は低速で走行し過 負荷運転を禁止する。	
	紙くず	17.60(t/日)					
	繊維くず	18.08(t/日)					
	金属くず	66.00(t/日)					

1-6-2-5.処理工程図



1-6-3.受託した産業廃棄物の処理量(2024 年 9 月~2025 年 08 月)

収集運搬量：3,670t

中間処理量：3039 t

2-3.環境経営計画・取組結果と評価														
目標値に対しての運用期間の実績		実績年度	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月
電力使用量の削減(本社)	売上による使用量(kWh/売上:百万円)	2024	784.00	643.00	641.00	804.00	893.00	827.00	835.00	556.00	573.00	756.00	877.00	980.00
		達成度	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
電力使用量の削減(大井事業所)	売上による使用量(kWh/売上:百万円)	2024	589.00	478.00	575.00	693.00	792.00	708.00	634.00	434.00	445.00	590.00	782.00	682.00
		達成度	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
電力使用量の削減(センター)	売上による使用量(kWh/売上:百万円)	2024	1559.00	1148.00	845.00	868.00	1028.00	1151.00	1129.00	1103.00	830.00	774.00	1101.00	1572.00
		達成度	○	×	○	○	○	○	○	×	○	○	×	×
電気使用量削減(高圧)	売上による使用量(kWh/売上:百万円)	2024	1916.00	1839.00	1723.00	2072.00	1961.00	1905.00	1911.00	1776.00	1584.00	1544.00	2460.00	2955.00
		達成度	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
ガソリン使用率削減(灯油)	売上による使用量(ℓ/売上:百万円)	2024	0.00	0.00	80.00	0.00	100.00	100.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
		達成度	○	○	×	○	×	×	○	○	○	○	○	○
ガソリン使用率削減(都市ガス)	売上による使用量(ℓ/売上:百万円)	2024	9.00	15.00	20.00	32.00	53.00	47.00	50.00	39.00	18.00	23.00	11.00	11.00
		目標値	30.33	30.33	30.33	30.33	30.33	30.33	30.33	30.33	30.33	30.33	30.33	30.33
		達成度	○	○	○	×	×	×	×	×	○	○	○	○
ガソリン使用率削減(ガソリン)	売上による使用量(ℓ/売上:百万円)	2024	402.65	314.71	378.53	466.04	316.23	320.35	366.36	397.72	470.15	428.27	414.28	451.86
		目標値	371.17	371.17	371.17	371.17	371.17	371.17	371.17	371.17	371.17	371.17	371.17	371.17
		達成度	×	○	×	×	○	○	○	×	×	×	×	×
ガソリン使用率削減(軽油)	売上による使用量(ℓ/売上:百万円)	2024	13.69	17.17	12.56	21.53	16.38	16.81	18.53	15.92	23.39	18.13	18.32	21.57
		達成度	○	○	○	×	○	○	○	○	×	○	○	×
リサイクル率	年間リサイクル率(%)	2024												
		達成度												
総排水量削減(本社)	使用量(m³)	2024	9.00		7.00		7.00		8.00		8.00		8.00	
		達成度	○		○		○		○		○		○	
総排水量削減(大井事業所)	使用量(m³)	2024	11.00		13.00		11.00		14.00		13.00		12.00	
		達成度	×		×		×		×		×		×	
総排水量削減(センター)	使用量(m³)	2024	55.00		59.00		58.00		56.00		55.00		57.00	
		達成度	○		○		○		○		○		○	
総排水量削減(センター破砕施設)	使用量(m³)	2024	1.20		0.70		0.10		0.20		0.10		0.30	
		達成度	○		○		○		○		○		○	
二酸化炭素排出量総量	CO2排出量(kg-CO2)	2024	15062.7	16969.77	13582.89	19227.77	14190.68	16680.1	20904.44	17479.64	16387	16799.42	18011.74	17368.62
		達成度	○	○	○	×	○	○	×	×	○	○	×	×

## 2.環境経営目標と実績および取組結果の評価

### 2-1. 2021 年度実績及び 2025 年度運用に対する目標(中長期の環境経営目標)

			2021 年度 基準年度	中期目標 ※(総合計値÷年間売上) ※電力・軽油以外は年間合計値			
			実績	2022 年度	2023 年度	2024 年度	2025 年度
			—	0.5%削減	1.0%削減	1.5%削減	2.0%削減
電力の使用 量削減	本社	売上による使用 量 (kWh/売上:百 万円)	10678	10625	10571	10518	10464
	大井事業所		6322	6290	6258	6227	6195
	センター		14088	14018	13947	13877	13806
	センター高圧		6.09	6.09	6.03	6.00	5.96
化石燃料 使用量削減	灯油	売上による使用 量 (ℓ/売上:百万 円)	443	441	430	425	421
	都市ガス		379	377	368	364	360
	ガソリン		4640	4617	4501	4454	4409
	軽油		20.00	19.90	19.40	19.20	19.01
廃棄物 リサイクル率		年間リサイク ル率(%)	—	0.1%増加	0.2%増加	0.3%増加	0.4%増加
			86.43%	86.53%	86.63%	86.73%	86.77
総排水量 削減		売上による使用 量	—	0.5%削減	1.0%削減	1.5%削減	2.0%削減
			529.2	526.6	523.9	521.3	518.6
二酸化炭素 排出量総量		CO2 排出量 (kg-CO2)	—	0.5%削減	1.0%削減	1.5%削減	2.0%削減
			245517.6	244290.0	243062.4	241834.8	240607.2

※中期目標の数値について、廃棄物リサイクル率の項目以外は基準年度実績値×当該年度目標削減率の計算結果を四捨五入した数値を記入

※2025 年度の排出係数(調整後)を使用 電気使用量 東京電力 0.4210000kg-CO2/kWh

レジル株式会社 0.000000 kg-CO2/kWh

株式会社ハルエネ 0.000000kg-CO2/kWh

### 2-2.環境経営計画及び取組表

環境経営計画		実施項目
二酸化炭素排出量 の削減	電力使用量の削減	・空調機のフィルター清掃 ・エアコン温度の管理 ・待機電力を出来る限り減らす ・照明機器の適切な点灯 ・動力の過負荷運転を減らす
	ガソリンの使用量削減 軽油の使用量削減	・長時間停車時アイドリングストップ実施 ・運行前点検等の車両整備の徹底 ・エコドライブの推進 ・積載物の適正荷重を徹底 ・最新低公害、低燃費車両への代替を進める ・タコメータによる運行状況の把握
	灯油使用量の削減	・休憩所新設及びエアコン設置
廃棄物排出量の削減	消耗品等の廃棄抑制	・資源ごみ分別の徹底 ・ゴム手袋等を洗濯し再利用 ・再使用、再利用の促進 ・使用方法や破棄時の状態を確認 ・電子データ化
	廃棄物の適正処理	・選別作業の徹底 ・有価売却の促進 ・5 R の推進、リサイクル率アップ
総排水量の削減	水道使用量の削減	・節水表示、こまめな節水 ・洗車時の適正水量 ・破碎作業時の適正水量
環境配慮	購入品について	・極力、エコマーク製品、グリーンマーク製品、カーボンオフセットの優先購入。 ・省エネ型製品を優先購入する。

## 運用期間の使用量実績

	電力	化石燃料	水	(売上)
	kWh	ℓ	m <sup>3</sup>	(百万円)
2024 年 09 月	4,848	5,060	76	36,016
2024 年 10 月	4,108	5,913	-	39,560
2024 年 11 月	3,784	4,661	80	40,864
2024 年 12 月	4,437	6,739	-	45,018
2025 年 01 月	4,674	4,715	77	50,304
2025 年 02 月	4,591	5,698	-	56,488
2025 年 03 月	4,509	7,349	78	76,828
2025 年 04 月	3,869	6,139	-	64,898
2025 年 05 月	3,432	5,815	76	56,266
2025 年 06 月	3,664	5,928	-	56,325
2025 年 07 月	5,220	6,347	77	44,938
2025 年 08 月	6189	6,307	-	57,922
合計	53,325	70,671	465	625,433
合計 kg-CO2	22,843.39	181,785.19		

### 2-4.運用評価

#### 1-1)二酸化炭素排出量の削減(電気)



継続して電力の削減を進めている。値に関しても特に問題ございません。

(センター特記)HDD の破碎に高速切断機を利用しているが、専用の破碎機に変更する事で省電力化が見込める為、導入を提案したい。9月より品川区で助成金が出るとの事なので助成金で購入が出来るか検討して欲しい。

また、台貫の蛍光灯が切れかけているので LED 化を検討したい。

#### 1-2)二酸化炭素排出量の削減(化石燃料)

エコドライブを引き続き推進している。軽油の使用量に関しては良く出来ておりました、この調子で続けていきます。ガソリンの使用量に関しては、去年に比べ約 1000 ℓ 程増加しておりますが案件次第に使用量が変わってくるため評価が難しい所である。

今後も、車両更新のタイミングで環境に優しい車両の導入やエコドライブ等の推進を継続する



#### 2).廃棄物リサイクル率の向上

新しくリサイクル可能な取引先への持込を開始したため、昨年の廃棄物リサイクル率 (86.94) と比較しておよそ 8%ほどリサイクル率の向上ができました。今後に関しても現状維持で廃棄物リサイクル率の向上を行う。



### 3).総排水量(水道使用量)の削減

去年度に比べると大井事業所の水道代の使用量が大幅に増加しておりますが、大井事業所に常駐する人数が増えたためだと考えられる。また、センター破砕施設の使用量は破砕機を使用する機械が少なく減少した。今後も節水を推奨しつつ現状維持を目標にする。



### 5).環境配慮

昨年に引き続きグリーン購入を行う。昨年度と比較すると 10 品以上グリーン購入を行っていた。今後もグリーン購入ではないものに関してもなるべく環境に配慮したものを選定し購入を行う。

- ・紙類 トイレtp紙ペーパー 古紙パルプ配合率 100% PEFC 認証品を使用
- ティッシュペーパー PEFC 認証品を使用
- プリンター紙 FSC 認証品を使用
- 名刺 R100 再生紙使用(カーボンオフセット検討中)
- ・文具類 マーカー類 グリーン購入法適合商品使用
- ・画像機器類 プリンター Energystarprogram カートリッジ回収有
- ・電子計算機 PC 関連 Energystarprogram
- ・照明 蛍光灯 LED 蛍光灯を使用

### 3.環境関連法規等の遵守状況の確認及び評価の結果並びに違反、起訴等の有無

当社に適用される、主な環境関連法規とその遵守状況の確認結果は以下の通りです。

環境関連法規への違反はありません。なお、関係当局からの違反等の指摘はありません。

法律名	遵守事項	評価者	評価日(確認)	評価
自動車 NOx・PM 法	NOx/PM 基準不適車運転禁止(東京都)	社長	購入時常時	○
オフロード法	事業者の責務、規制対象車両の使用	業務部長	購入時常時	○
資源有効利用促進法	使用済み物品等の再生資源・再生部品としての利用の促進	業務部長	9/5	○
廃棄物処理法	□産業廃棄物	—	—	—
	処分業の許可の更新を5年前に受けていること(法14条)	社長	9/5	○
	産業廃棄物処理実績(前年度分)を毎年6月30日までに報告(細則14条3)	管理部	5/20	○
	帳簿の備付けと5年間保管	センター	9/5	○
	産業廃棄物処理責任者及び技術管理者の設置	社長	9/5	○
	□一般廃棄物	—	—	—
	地区町村長による収集運搬業の許可	社長	更新時	○
	帳簿の備付けと5年間保存	センター	9/5	○
	□マニフェスト	—	—	—
	マニフェストの交付状況(前年度分)を毎年6月30日までに報告(規8条の27)	管理部	5/20	○
	マニフェストの記録、保管等(保管期間5年間)	センター	9/5	○
自動車リサイクル法	リース契約の為、三菱オートリース社等に返却	社長	9/5	○
フロン排出抑制法	フロンがあるものは必ず抜く手配をし、抜いてから処理を行う	業務部長	実施時都度	○
労働衛生安全法	事業者の責務、安全衛生管理体制の措置、安全衛生教育、健康診断	社長	9/5	○
東京都環境確保条例	環境への負荷の低減に関する、環境の保全に努める。	業務部長	9/5	○
廃棄物の減量及び適正処理に関する条例	廃棄物の発生を抑制し再利用を促進する等により、廃棄物の減量を図る。	業務部長	9/5	○
廃棄物の処理及び清掃に関する法律	事業活動に伴って生じた廃棄物を自らの責任において適正に処理を行う	業務部長	9/5	○
協定	立入検査の実施	業務部長	要求時都度	○
	廃プラスチック埋立ゼロに関する協定	業務部長	9/5	○



#### 4.代表者による全体評価と見直し

・EA21 活動も三年目を迎え、社員一人ひとりの意識と行動が着実に定着してきたことを実感しております。環境への配慮を日常業務に取り入れる姿勢が根付き、各項目において現状維持以上の成果が見られたことは、大変意義のあることです。

二酸化炭素排出量の削減については、電力・化石燃料の両面で継続的な取り組みが行われました。電力使用に関しては、専用破砕機の導入提案や台貫照明の LED 化検討など、省電力化に向けた具体的な改善案が挙がっており、今後の効果が期待されます。軽油使用量の抑制は特に良好であり、エコドライブの定着が成果として表れています。ガソリン使用量の増加は業務内容に起因するものであり、車両更新時の環境配慮を継続してまいります。

廃棄物リサイクル率については、新たな取引先への持込開始により、昨年度比で約 8%の向上が見られました。これは、日々の業務改善の積み重ねによる成果であり、今後も現状維持以上を目標に取り組んでいきます。

水道使用量に関しては、大井事業所の使用量増加が見られましたが、常駐人数の増加によるものであり、破砕施設では使用量が減少するなど、全体としてはバランスが取れていると判断しています。引き続き節水意識の向上を図ってまいります。

環境配慮に関しては、グリーン購入の継続と品目の拡充が進み、紙類・文具・画像機器・PC 関連・照明など、幅広い分野で環境に配慮した製品の選定が行われました。今後もグリーン購入以外の製品においても、環境負荷の少ない選択を意識していきます。

私たちの活動は、「循環型社会」「脱炭素社会」の実現に向けた一歩であり、持続可能な社会への貢献を目指す責務があると考えております。資源の再利用やエネルギーの有効活用を通じて、地域社会やお客様とともに、より良い未来を築いていけるよう、今後も創意工夫を重ねてまいります。